

みなと いしづ

第 10号

港第14自治会 世帯数・事業所数

平成29年5月1日現在

	世帯数	事業所数		世帯数	事業所数
1 町内会	625	34	7 町内会	226	2
2 町内会	462	6	8 町内会	60	9
3 町内会	145	14	9 町内会	175	2
4 町内会	61	4	10町内会	178	17
5 町内会	74	1	11町内会	270	7
6 町内会	78	0	12町内会	89	4

世帯数計2,443 事業所数計100

みんな
で
支
え
合
う
“
い
し
づ
”
を
創
る



港第14自治会

地区住民一人ひとりが担い手
平成29年度 定期総会に 180名出席



“集まる居場所”をめざす「いかずい北川原」開所式



港小学校入学式のひとこま

どきどき わくわく一年生



小川中学校入学式のひとこま

祝 入 学 式

平成29年度 港小学校98名、小川小学校107名、港中学校138名、小川中学校99名の児童・生徒が入学しました。

明るく、安心して、住み良い地域の確立をめざす

平成29年度 港第14自治会定期総会開催

安心・安全基金を新たに創設し有効活用

平成23年3・11は、忘れたくても忘れられない忌まわしい一日でした。あの日以前と以後とでは、石津に住まう人も大きく変わったと言ってもいいショックを受けました。大津波によって、ある日ある時、私たち市民の日常が消滅してしまうのです。あの時から、6年1か月が過ぎた今年4月16日(日)港公民館において、「平成29年度港第14自治会定期総会」が、住民代表143人(66.5%の出席率)と関係団体等から約40名の来賓の皆さんのご出席により、盛大に開催されました。様々な地域課題(福祉、防災、交通安全、住民の親睦・教養・体育向上、青少年の健全育成など)がある中で「地域の安全と人々の命をまもる」を最重要方針として位置づけ、平成28年度の自治会事業報告と決算報告、平成29年

度の事業計画案と予算案が承認されました。

新年度の事業審議として、基金設置の提案がありました。石津コミュニティ防災センター(石津コミセン)の財産として積み立てられてきた定期預金について、今年度より「安心・安全基金」とすることが承認されました。この定期積立預金は、石



自治会長	丸山 昭夫	7町内会
副自治会長(自主防・公園管理)	山中 義実	5町内会
副自治会長(広報・福祉)	平田 厚	12町内会
副自治会長(事務局長・会計)	良知 秀彦	7町内会
自治会参与(会長特命事項)	大澤 雅晴	10町内会

第1町内会長	宮島 昇	環自協・福祉・研修
第2町内会長	加茂 一男	広報・自主防
第3町内会長	小池 篤	交通・石津コミセン会計補佐
第4町内会長	向山 秀雄	研修・環自協
第5町内会長	原崎 省司	福祉・自主防・総務
第6町内会長	渡辺 勲生	祐心館・交通
第7町内会長	小林 宏行	広報・自主防
第8町内会長	八木 俊昭	環自協・総務
第9町内会長	川村 和子	福祉・自主防
第10町内会長	小池 基夫	石津コミセン会計・体育
第11町内会長	鈴木 吉秋	石津コミセン事務局長・交通
第12町内会長	藪崎 清	体育・自主防・総務
女性部長	山口 誠子	12町内会
自主防指導委員長	吉田 初雄	5町内会
自主防救助隊長	中野 憲章	7町内会
自警団長	小池 憲司	7町内会
消防団11分団長	城間 和弘	10町内会
体育委員長	良知 宏幸	1町内会
保健委員長	勝矢 愛子	3町内会

リコーム1

本号から、新たな企画として、港第14自治会活動に貢献していただいています方々に登場していただきます。第1回は、体育委員会委員長の良知宏幸さんです。

勘違いで幸せ

体育委員長 良知宏幸



外出嫌い、人混み苦手、人前に出るのはもってのほかの私が石津に転居し十五年、本年度体育委員長を拝命するという軽い暴挙に出た理由は「私は必要とされている」という、勘違いも甚だしい超ナルシズム的究極の一方通行な思い込みによるものでした。

極端な思考ですが、これは社会心理学でいう「返報性」の一つで、例えるなら「笑顔は笑顔で返ってくる」です。外に出たくない検定四段の私を外界に駆り出してくれた近隣の方々の地元愛に応えることが、私にとっての「好意の返報性」であり、大いなる勘違いからくるささやかですが幸せな奉仕なのです。人は他者の助け、関わりがあるから生きられると言います。私はその機会をくれた親愛なる大切な「他者」に感謝し、素晴らしい「関わり」を今以上に発展できるよう気負わず頑張ります。ダメな時は平身低頭謝ります。

津コミセンの建物が経年劣化等による大規模修繕に対処する原資とする目的でありましたが、石津コミセンは市有物件であることから、大規模修繕等が見込まれる場合は、市に対して予算獲得の要望をし、市の施工で行うことになったので、この定期積立預金を自治会員（住民）のための防災備品の購入、避難所対策費、防災訓練費用や平成25・26年度に防犯蛍光灯からLED防犯灯（耐用年数10～13年）に一斉交換したことで、次の取替交換業務を町内会から自治会に事業移転することとし、その費用をこの「安心・安全基金」の取り崩しにより確保を図ることが承認されました。

基金取り崩しにあたっては、この地域の安心安全のための事業に使用し、基金の管理は厳格に行うべく、石津コミュニティ防災センター管理運営委員会に諮問して承認のもとで行うこととなりました。



平成29年度 港第14自治会主要行事

- 4月 定期総会 広報誌に関するアンケート実施 緑の羽根募金
- 5月 春期河川側溝清掃 いかずい北川原居場所開所式
石津海岸公園整備作業 自主防定例会
- 6月 避難所運営訓練 町内交流ベタソング大会 ゴミ減量説明会
日赤救急法短期講習会
広報誌「みなといしづ」第10号発行
- 7月 河川・海岸愛護月間清掃作業 自主防定例会 市政懇談会
石津海岸公園清掃 木屋川ポート事業
- 8月 旧盆の精霊送り 総合防災訓練
- 9月 第47回自治会体育大会 敬老会 自主防定例会
第1回港地域ささえあい講座
- 10月 町内交流ドッチビー大会 赤い羽根募金活動 港公民館まつり
第2回港地域ささえあい講座
- 11月 交通安全教室 ふれあいゲートボール大会 しおかぜスクール
広報誌「みなといしづ」第11号発行 自主防定例会
第3回港地域ささえあい講座
町内交流フンバウンドふらばーるバレーボール大会
- 12月 地域防災訓練 歳末助け合い募金 第4回港地域ささえあい講座
- 1月 自主防定会出初め式 成人式 自主防定例会
- 2月 グランドゴルフ大会 町内交流ファミリーバドミントン大会
広報誌「みなといしづ」第12号発行
- 3月 役員改選 焼津市災害時初動・夜間訓練 自主防定例会

認可地縁団体 石津共栄会の果たす役割 —さらなる自治会活動の発展に期待—

昔は生産活動の場は、地域の中に有り、生活と一体化していましたが、現在は仕事のため車で地域外へ働きに出てしまい、地域内での人間関係が薄れて来ています。

以前は、神社・農業治水・漁業等に関係も深く、人間関係についても密接であった様です。

石津共栄会の主な事業である助成事業は、社会福祉(さわやかクラブ、子供会、消防団)、公共対策(港第14自治会)、スポーツ振興(自治会体育大会、スポーツ少年団、ゲートボール、Gゴルフ、ラジオ体操)、神社等に幅広い助成を行い地域活性化を期待しています。特に、お気付きの皆様は少ないと思われませんが、自治会の体育大会への助成金は競技の景品等に使用され、毎年地域の皆様の楽しみ、絆づくり

を深めるよう支援しています。現在、石津共栄会が抱えている課題の一つは、石津浜公会堂の利用状況の著しい低下です。施設に問題があるのか、PRが足りないのか、周りの環境が変わって来ているのか等を検討しています。

地域に役立つ施設、拠点機能として、積極的な利用を期待します。小さな子供がこの地で育ち、大人になりこの地を離れ、何処の地で活躍しようとも、このふるさとを思う心を持つ子供を育てたい、また、環境で在りたい、その一助として石津共栄会も役立つ活動を続けてまいります。



会長 嶋 芳正

消防団員集まれ

地域の安心と安全を守るために

第11分団分団長 城間和弘

消防団員とは、「自分たちのまちは、自分たちで守る」郷土愛あふれる消防組織です。地震、台風等の災害時には地域密着性、要員動員力をもって災害活動を展開し、地域の安心、安全を守っています。

消防団員は、火災時における消火活動、大規模災害時における救助、救出活動、また、平時においても、訓練のほか、応急手当の普及指導、特別警戒、広報活動などを行います。

消防団員は、「非常勤特別職の地方公務員」です。年間の職務に対する報酬と災害や警戒、訓練などへの出勤時の手当などが支給されます。消防団員になるための条件 ●焼津市に居住し、勤務し、又は通学している方 ●年齢は18歳以上の方(男女は問いません) ●心身ともに健康な方 焼津市には18の分団があり、第14自治会は、第11分団がその任務にあっています。先ごろ、20代の団員が入団、新しい消防車両も配備され頑張っています。



特集 広報委員会座談会

自治会活動の“見える化”の課題に向けて

223枚の回答から「みなといしづ広報誌」に期待するものを探る

素人集団から手探りで自治会活動の“見える化”に取り組む

「みなといしづ広報誌」発行は、平成25年度6月、当時町内会長5名で広報部会を結成して始動。平成27年度「広報委員会」を設置し7名体制で年3回発行。平成28年度「サポーター制度」により、住民参加の編集に発展、「カラー刷」を導入。「公民館まつりパネル展示」「定期総会パネル展示」を実現し5年目、第10号発行の節目を迎えました。



予想を上回る、貴重な223世帯からの回答

全住民参加の地域づくりへの期待等、いまや会員の積極的な自治会活動への参画が急務の課題。自治会活動の広報啓発をさらに高めるため、このたび、「広報誌に関するアンケート」を、全会員対象に9号発行配布にあわせて実施いたしました。全町内会長の協力により、223世帯（全体の9.02%）から貴重な回答をいただきました。広報委員会では、去る5月11日に石津コミュニティ防災センターにおいて、アンケート結果をもとに、広報委員会座談会を開催しました。

各町内会組長会等の場で報告し、会員にフィードバックしていく工夫が求められています。「自治会活動とは何か」をしっかりと理解する「見える化」の課題。広報活動に協力する申し出が数件ありました。より具体的な地域参加活動として、関わっていただき、大きな「いしづ力」発揮を期待します。

広報活動は、さらに工夫し、発展していく課題多い

「広報誌を読んでいる」回答は77%。「このままの発行状態でよい」74%。さらに、関心を持って広報誌へ意見が寄せられる呼び掛けの工夫。貴重な回答意見を、

「いしづを知りたい」意見が多い

「石津の歴史」に興味を持った回答が多い。さらに「いしづのよさ」（石津の浜から富士山を眺める、かつおのへそ料理にまつわる話、木屋川の歴史等）をいかに発掘し記事化していくかに挑戦。

写真・文字を大きくの要望があります。子供の育成事業や地元の見どころ、スポットの紹介、趣味や話題の人の紹介といった提案もいただきました。

限られた紙面に「あそび・ゆとり」の部分のいかに確保するか、今後、優先順位を委員会で検討します。

今年こそ、特定健診受診率を高め、健康で明るい地域をめざす

保健委員長 勝矢愛子

受診しよう 特定健診

平成29年度も焼津市では、国保の特定健診やガン健診を一つの用紙にまとめた「受診券」を送付しています。あなたはこれを、しっかりと見たことがありますか？ 右半分はガン健診、左半分は上から、国保の特定健診、後期高齢者健診、基本健診…となっています。

「健診」は、健康な人が自覚症状がないうちに受けるものです。左上「国保の特定健診」は、40歳から74歳の焼津市の国保加入者が対象です。左上★の受診対象欄に、「対象」と字が入っていたら、さあ受けましょう。

40歳から69歳は千円、70歳以上は無料です。

裏面に、健診の受け方、医療機関等の説明があります。内容は、問診、身体測定、血圧、内科診察、血液、尿、心電図、貧血、尿酸、クレアチニン検査等です。体に負担がかからないやさしい検査です。

焼津市の特定健診受診率は、平成27年度37%、県内で26番目。港14自治会は30%、焼津市内27自治会中26番目、ビリから2番目でした。今年こそ、健診を受けましょう。さらに、食事、運動、睡眠の生活習慣を見直しして、糖尿病等を未然に防ぎましょう。健康は、大きな「財産」です。

平成28年度を振り返る

いかにして家族ぐるみの防災訓練意識を高めるか

平成28年度の目標項目に、「防災訓練参加者の増員」と、「女性防災組織の体制づくり」がありました。地域の防災力向上については、この2項目が必要です。防災訓練参加状況は、6年前の3.11発生直後の訓練では2,505人でしたが、徐々に減少し、昨年3月の津波避難訓練時には1,461人と、1,000名も落ち込みました。今年3月の津波避難訓練には1,720人とやや増加しましたが、この時には、自治会全世帯へ防災訓練参加周知のチラシを配布し、その成果があったと推測します。参加者の状況を見ると、1世帯1人だけ参加すればよいではなく、家族ぐるみの防災訓練参加と青少年、とりわけ、中高大学生への呼びかけを積極的にしなければなりません。参加の呼び掛けは、組ぐるみ、そして町内ぐるみの防災訓練参加の徹底にあります。

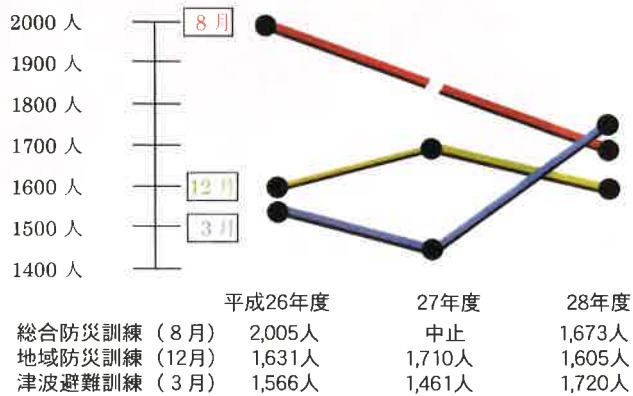
管内に約7,000人が居住していることを考えると、3.11震災直後の訓練参加実績数を訓練参加目標としたい。

「女性の視点」で防災対策に取り組むことが重要であることから、「女性防災員」の位置づけにより、自主

防災会において、女性の意見が反映されやすい体制づくりにしていかなければなりません。29年度に、女性防災員が誕生しました。さらに、防災意欲のある方を人選し、組織の骨組みになっていただく人材を広く呼びかけていきます。「避難所運営訓練」は、小川小学校において13自治会と合同訓練を昨年8月と12月に実施しました。12月に港小学校で実施した7・8・11町内会との合同訓練には、504人が参加しました。継続的な訓練実施が望まれていることから、さらに内容を検討します。去る2月5日に港公民館で開催した「防災研修会」では、焼津イオン店長が当時石巻支店勤務の時の、生々しくも尊い東日本大震災の体験をもとにした講演に学ぶ機会を持ちました。津波に対して防衛がない今、減災についてどのように考えて行かなければならないか、これは重要な課題でもあります。この地域の実態を地域住民が知り、避難所運営訓練等は、マンネリ化しないように、常に、現状にあった、新たな訓練の実施で、防災意識の向上につなげていきます。

平成30年3月には、夜間の津波避難訓練を計画します。

この3年間の防災訓練参加状況



平成29年3月 祐心館広場の訓練状況

いしづの



再発見

VOI 10

小川港の変遷②

明治に入ると鉄道ができ、小川港は、物資輸送の役割は少なくなりました。明治42年には、焼津港の避難場所として位置づけられ、大正初期からは漁船の動力化に伴い、沿岸漁業中心から沖合遠洋漁業が盛んになり、その基地として、漁業中心の港に性格を変えていきました。

しかし、漁業が盛んになって漁獲高があがっても船を港の中に入れることができないので、沖に留めて伝馬船で運びあげる「沖がかり」の方法しかとれませんでした。この不便さを解消するために港の建設が計られるようになりました。昭和5、6年から船の大型化が始まると、従来の船溜りでは小さすぎるという

ことで、昭和9年に本格的な、船溜り・導流堤・物揚場を完成させました。これによって砂浜に引き上げてた漁船は、港に停泊することが出来るようになり、漁業の発展をもたらすことになりました。戦後、沖合漁業の急速な発展に伴って漁業の拡充の必要性が生まれ、昭和26年に荒廃している養鰻池を掘り込み、港を拡充し、12年の歳月をかけて昭和37年に近代的な港に作り替えられ、昭和44年には造船団地をもつ沖合漁業の根拠地とすることができました。その間、小川港はサバ漁業および近海漁業の港として大いに発展してきました。昭和62年既存の掘り込みの港の外側に外港が完成、平成元年には内港にあった荷捌き機能が外港へ移り、従来の小川港は、船溜りとしての風景を留めています。(完)

参考文献：静岡県史民俗調査報告書第18集『石津の民俗』
「シリーズ いしづの歴史」は、今回で一旦終了します。次回からは、「いしづの昔話」(仮称)として、いしづの歴史を含めて紹介します。

いしづの居場所を拓く③

「地域ぐるみの居場所をめざす」

“いかずい北川原” 5年の経過からいよいよ開所



定期総会で承認

地域で暮らす基本を「自助」としながらも、それだけでは成し得ない地域での暮らし合いを「共助」による「支え合い」をいかに構築していくか問われています。災害や社会的諸問題（長寿者・児童・若年層の孤立、生活困窮対策等）に対処できるよう、「予防的コミュニティ構築」に向けて、今、各地で積極的に「地域住民がふれあう場所・居場所」立ち上げに取り組んでいます。第12町内会（89世帯、高齢化率23.9%、生産人口率51.4%、年少人口率24.6%）では、町内の“寄り合い処”として新たに整備された「北川原公会堂」の有効活用についてこれまで「公会堂運営委員会」において協議を積み重ねてきました。さる4月9日の平成29年度定期総会で、「いかずい北川原」居場所事業を町内会活動として取り組むことが確認されました。若い世代と年配者等がふれあい、町内会員相互の親睦の場をめざし、5月28日（日）に、焼津市社会福祉協議会 会長永田實治様(写真中央)、港地域づくり推進会会長（第14自治会長）丸山昭夫様(写真右)をはじめ、多くの来賓の皆様、町内会役員・会員等 70名の出席のもと盛大に開所式を行いました。

当日は、静岡市で最初に「居場所」を立ち上げた清水区「寄ってっ亭」代表 藤下品子様(写真左)による「今、なぜ居場所か」の記念講話、その後、静岡福祉文化を考える会、常葉大学同好会「若者発“居場所”あり方研究会」の協力で、ふれあい交流による「若者発ご近所福祉かるた」で和やかなひと時を過ごしました。



藤下氏



永田氏



丸山氏



「いかずい北川原」居場所は

- ★開設日 原則、月4回 第1週～第3週 火曜日10:00～15:00
第4週 日曜日13:00～16:00 世代を超えた交流プログラム予定
- ★毎月「いかずい北川原通信」を発行し開設日を周知。
- ★問い合わせ先 港地域づくり推進会事務局(港公民館) 054-624-8855

※「いかずい」の言葉「いかざあ」と同じ意味を持つ方言で、「行きましょう」の意味

今年も楽しく学ぶ 港地域ささえあい講座 9月スタート!

平成28年度、延べ186名が受講した「一誰が担う? つながる地域 支え合う地域輝いて、“一人でも安心して暮らせる港地域づくり”をめざす—港地域ささえあい講座」は、今年度も、9月より全4回(9/9 10/7 11/4 12/2 13:00～16:30 港公民館)開講します。楽しく学び合い・語り合う居場所です。

主な内容

- ふれあい交流/楽しく「歌声喫茶」などで楽しいを創る。
- 基礎講座「焼津の福祉を学ぶ」「認知症の理解と接し方を学ぶ」「居場所づくり」など
- 三人寄れば文殊の知恵、みんなでアイデアを出し合うワークショップ「港地域を語る」「ご近所福祉あれこれ」「高齢者事例を学ぶ」など
- 受講者で希望する人を対象に、施設見学体験研修プログラムもあります。

★詳細は、7・8月公民館だよりでお知らせします。

問い合わせ 「港地域づくり推進会」事務局(港公民館) 電話054-624-8855 FAX054-623-8504



昨年度の講座の様子



環自協

地道な取組み 古紙回収が自治会活動を支える

会員の要望により3年程前に設置しました管内2か所の「古紙回収ステーション」。

月1回の不燃物回収日以外に、いつでも利用できることから好評です。港第14自治会では、毎年「ごみ減量説明会」（今年は6月16日開催）、ごみ収集場所における啓発活動や、その都度ごみの分別の周知を回覧板で実施しています。

その結果、会員の意識も高まり、「資源ごみ」（雑紙、新聞紙、段ボール等）の回収量は、前年度より少しづつですが増加しています。古紙回収売却費は、年1回各町内会への配分や自治会活動の重要な財源となっています。

引き続き、「古紙回収ステーションの活用」「ごみの分別」にご協力下さい。

人形に感謝をこめて
51年の伝統行事 古びな供養祭

お子様の健やかな成長を願い、お子様が成人し、その役目を終わられたとき人形に感謝をこめて供養する行事「古びな供養祭」。昭和42年から、51年間続いています。去る4月

21日港公民館駐車場において、港第14・23自治会関係者のもとで執り行われました。



4年目の石津海岸公園環境美化活動

平成26年9月に完成した石津海岸公園。

その後「ポートサポーター制度」を締結して以来、4年目を迎えた環境美化活動。5月14日に、港第14自治会の自治会・町内会・組長役員はじめ、管内の各種団体会員等約140名が参加し、芝生の目土入れ作業が行われました。

多くの方々が来て、駿河湾に臨む富士山を観る「みなといしづの観光名所」にしていきたいと思います。



いまに伝わる“八兵衛”さん

第4・5・6町内会管内に祭られている「八兵衛さん」。現在の敷地には、お地蔵さんと無縁万霊塔と八兵衛さん(写真左)の三体が祭られています。付近のお堂とその周辺は、児童等の集合・集会場所の役割を果たしています。

八兵衛さんがどんな人かは、多くの専門家からも明らかにされていません。一説では、紀伊国（現在の和歌山県）から流れてきた巡礼とも考えられ、途中、焼津に立ち寄り、「私の死後祭ったら悪病にかかることは無い」と遺言し、悪い病気を防ぐために、八兵衛さんの碑を建てたとも言われています。

明治35年に建てられた、石津の八兵衛さんの碑には「紀伊国川中島ノ八兵衛をここにまつりておがむ人々」と書かれています。石津・不岩院のほか、近隣地域にも碑が立てられています。



4月5日は水天宮大祭



今年も社殿では、港小学校児童4名の浦安の舞が奉納されました

シリーズ3

ご近所福祉をご一緒に考えてみませんか

本号第2号（平成26年6月15日発行）、第3号（平成27年2月9日発行）に続きシリーズ3は、「平成28年度・ご近所福祉その意識と実態調査」（実施主体：市民団体・静岡福祉文化を考える会／県民619名からの回答）結果を紹介します。浮き彫りになりました結果内容を今後の地域づくりの参考にして下さい。

- ①「地域コミュニティ」について、「潤いのある生活を営む上で、非常に重要な役割を持っている」47%、「生活を営む上で必要は感じていない」13%、「今後、ますますその役割は薄れてくる」10%、「よくわからない」25%。
男性の地域コミュニティへの期待感は消極的な結果。単身世帯の方の回答は、地域コミュニティに大きな期待を持っている。★5年前の同調査結果と比較すると、いずれも、期待感は15%減少。
- ②「地域に住んで、将来の暮らしに不安」は約54%感じる。（「大いに感じる」9%、「少し感じる」45%）
★5年前と比較すると、やや「不安を感じる」傾向あり。
- ③「地域活動に参加の呼び掛けがあったとき参加する」75%。「あまり関心がない」2%。
★5年前より5%減少しているものの、呼びかけがあれば参加する人は多い。
具体的な地域課題に住民が関わる環境づくりが求められている。

シリーズ⑦
懐かしいあの時代
私の思い出アルバム
投稿お待ちしております！

甦れ 地域のお祭り

かれこれ、63年前の写真。八幡宮大祭に下小路・本田・雁橋地区住民が繰り出した屋台。ざっと数えて180名が、蔵珠院横のお堂広場に大集合。

(写真提供：第2町内会 平田利弘さん)



シリーズ 4 ごぞんじですか 焼津市青少年教育センター補導員

活動の目的は、補導活動を市民に周知するとともに、市民への青少年の非行防止、健全育成に関する意識高揚を図る『青少年の非行防止、被害防止』です。

活動の内容は、公民館の公用車に青色回転灯を取り付け、公園、コンビニ、ゲームセンター、大型店舗などをパトロールし、青少年への声掛け（早期帰宅指導など）を行います。

愛のある声かけを行うことで、非行の早期発見や防止につながります。また、犯罪の発生を防止するため、青少年に限らず声かけを行い、地域の防犯意識の向上を図ると共に、不審者情報等の入手時には、地域安全確保のために、関係機関（警察など）に連絡を取ります。

活動は、補導員一人につき月1回（19:30～21:00）で、夏季及び冬季には、各1回ずつ市内一斉補導が実施されます。

平成29年度は、港第14自治会より石田正昭さん、富田一美さん、増田康明さん、青島洋美さん他港第23自治会より4名、港小、港中、港小P T A、港中P T A、港小子ども会等13名が担当しています。

交通事故 **ゼロ** をめざす

絶対ダメ！ 飲酒運転は犯罪です

事故に遭わない3つのポイント

- ①一時停止標識、見通しの悪い交差点は必ず止まる。
- ②車が来ないか、安全確認をしっかりと。
- ③自分だけでなく、周りの車、人、自転車の様子に気をつける。

車は、ほんとうは安全な乗り物です。左右確認、信号の見落とし、横断中の歩行者に注意し、周りへの気づかひが必要です。

自転車も安全運転が必要です。自分だけと思わず、車、人に注意しての走行が大事です。

平成28年度事故件数

焼津市全体1,108件
 主な原因 追突417件 出会い382件
 左右折時95件 その他
 平成28年度飲酒検挙 6件

焼津市交通安全コンクール

(3,000人以上の自治会)
 港第14自治会 16自治会中 13位

今年も、「交通安全教室」を開催します。回覧で周知しますので、多くの会員の参加を期待します。

小川交番防犯情報

小川交番 ☎ 054-623-1636
 焼津警察署 ☎ 054-624-0110



☞振り込め詐欺（特殊詐欺）の被害防止！
 サギ電話が多発！まだまだ被害が発生しています！
 私は大丈夫！ではありません。
 まず家族、警察に連絡を！

☞これからの季節、のぞき、干し物盗にご用心！
 風呂場の窓の解放、無施錠に注意！
 洗濯物は夜間、留守中は屋内に！

小川交番が新しくなります。

本年12月下旬から、庁舎の建て替え工事が始まります。小川交番勤務員は、隣接の中央交番(東消防署横)にて勤務しますが、小川交番管内のパトロール等をしていきますので心配はいりません。ただし、落し物などの届け出については、ご不便をおかけします。

編集後記

自治会活動を全ての住民に理解していただくことを目的に、発行しています「みなといしづ広報誌」。5年目に入り、OB・現職町内会長、そしてサポーターによる「広報委員会」の労作活動により、ここに、第10号を皆さんにお届けすることが出来ました。広報誌発行に関するアンケートに回答して下さった223名の会員に感謝申し上げます。尊いご意見をもとに、さらに自治会活動を「見える化」「わかる化」する努力をしてまいります。引き続き、ご支援ご協力をよろしくお願い致します。

広報委員／大澤雅晴 伊藤敏行 青嶋敏夫 植村悦也
 加茂一男 小林宏行 平田厚
 サポーター／安倍孝至 平田澄夫 橋本和子

	世帯数	事業所数		世帯数	事業所数
1 町内会	628	34	7 町内会	220	2
2 町内会	460	6	8 町内会	59	10
3 町内会	152	14	9 町内会	174	2
4 町内会	61	4	10 町内会	189	4
5 町内会	73	1	11 町内会	270	7
6 町内会	78	0	12 町内会	91	4

世帯数計2,455 事業所数計88

みなと いしづ

第11号



7月

地域ぐるみで子どもたちの健全育成
第23回木屋川に親しむボートレース大会



8月

“自分の命は自分で守る”
家族ぐるみの総合防災訓練参加を呼びかける



9月

地域の絆深めよう14自治会”スローガンに 第47回体育大会



10月

地域の繁栄発展を願い 八幡宮大祭“浦安の舞”奉納



11月

石津八幡さんで七五三



12月

延べ170名が学び合った「港地域ささえあい講座」

誇れる“いしづ”の地域伝統行事・文化をみんなので拓く

町内会勢ぞろい 歴史を彩る 第47回体育大会盛り上がる

悪天候により、一週間延期しました「第47回港第14自治会体育大会」を、9月24日(日)、港小学校グラウンドにおいて、盛大に開催しました。今年度も、ご多忙の中を、中野弘道焼津市長が、激励に駆け付けていただきました。今大会で、5年連続総合優勝の「第7町内会」は、特筆すべき成果でした。準優勝第2町内会、3位第6町内会、でした。競技に出場する人、そして、応援席で大会を盛り上げる人がいて地域の絆が深まりました。

さあ、来年の“第48回第14自治会体育大会”も町内会あげて参加しましょう。



町内会ふれあい交流大会

ドッチビー大会

10月8日(日) 港小学校体育館

優勝 12町内会 (2年連続)
準優勝 6町内会
第3位 9町内会



ワンバウンドふらばー大会 (新種目)

11月26日(日) 港小学校体育館

優勝 1町内会
準優勝 2町内会



市民ふれあいゲートボール大会

11月19日(日) 石津浜ゲートボール場

一般の部

優勝 9町内会
準優勝 1町内会
第3位 6町内会



今年で4年目の企業社会貢献活動 佐藤建設(株)・協力会社様の松林美化活動に感謝

暑さの続く7月6日(木)、石津浜保全林(祐心館付近)の美化活動に、市内の佐藤建設(株)・協力会社様が大量の落ち葉を処理し、防潮林保護に大きな役割を担っていただきました。



“楽しく学び合う居場所”が誕生 「港地域ささえあい講座」に延べ170名が熱心に受講

住み慣れた地域で、その人らしく暮らし合うことを学び合う「港地域ささえあい講座」が9月2日に開講しました。港地域づくり推進会管内(14・23自治会)から、若い世代層も参加し、23名からなる実行委員会を立ち上げ、「楽しく学び合う居場所づくり」「世代や領域を越えたふれあい交流」「日常的なコミュニケーションが災害時に大きく活かされる」等、地域総合型学習を目指して、月1回開講し、12月2日に無事終了しました。

本講座は、静岡県コミュニティづくり推進協議会「コミュニティ活動集団育成事業」の助成を受けて実施しました。



実行委員会のメンバー



平成29年度“赤い羽根”地域福祉 促進助成ありがとうございました。

1・2・5各町内会は災害時避難者用トイレ Tent各6セット(写真左)、9町内会は地域行事等運営向上備品整備事業として「アーム付椅子」20脚(写真右)、12町内会は居場所生活向上備品整備事業として「座椅子」10脚をそれぞれ整備しました。



いしづの 昔話

第1話

船酔いを止める仏さん(上)

シリーズ「いしづの歴史再発見」の第2弾として、石津に係わる昔話を紹介します。

明治のころ、石津の水天宮の近くに、漁師の吉田幸蔵さんという人がいました。幸蔵さんは早起きで、毎朝かわいい孫をつれて、波打ちぎわを歩くことを楽しみにしていました。その日も、いつものように孫といっしょに波打ちぎわを歩いていました。ふと足もとを見ると、打ち寄せられた木切れや海草にまじって何か形の変ったものがありました。よく見ると小さな仏像でした。高さが10センチほどで、光背(仏像のうしろにあるかざり)がついた、りっぱな木の仏像でした。「これはえらいものを拾ったな。もったいないことだ。こんなに朝早く仏さまを拾うなんて、何かのご利益(おめぐみ)

かもしれない。」と、幸蔵さんは家に持ち帰り、きれいに水で洗い、仏壇に大切におまつりしました。

さて、幸蔵さんの家の嫁、ひでさんは、きのうから田尻の親せきの家にとまっていたのですが、なにか胸さわがして、朝ごはんも食べずに、急いで家へ帰りました。

今回はここまでで、この仏さまが何で船酔いを止める仏様と言われるようになったのかは、次回(3月発行)に続きます。お楽しみに!

参考文献：やいづの昔話より
作画：第11町内会
高橋泰弘さん(画号 義聖)



ごぞんじですか その2

地域安全推進員

「通称青パト」と呼ばれ、安全で安心して生活できる地域社会をつくるために取り組まれています。管内から選出され、警察署長と地区防犯協会長が連名で委嘱します。

具体的な活動は、地域の状況把握、関係機関等との連携について、自治会・町内会住民に話しかけ、具体的な活動につなげていきます。毎月定期的に管内を巡回しています。

第14自治会から 平田恭司さん(第3町内会)、八木昭治さん(第5町内会)、加茂亮吉さん(第9町内会)、長谷川喜久男さん(第11町内会)が任務に就いています。

シリーズ⑧

懐かしいあの時代
私の思い出アルバム

投稿お待ちしております！

昭和26、27年頃の
前の川大水道

当時の「前の川」は、
主要な用排水路でした、
この橋は駿河湾の干満に
より塩水が小水路や田んぼに入らないように潮位に
より自動開閉される木製の扇方門扉の逆水門が設置
された石橋でした。

浜地区の子等の多くは、この橋を渡って小川小、
小川中に通っていました。位置は、10月まであった
石津浜郵便局前の「大水土居橋」が架かっている場
所です。



(写真提供：第五町内会 山中義実さん)

やいづビーチクリーン大作戦

11月26日(日)に、当自
治会をはじめ、近隣自治
会から500名が参加して、
石津浜海岸のやいづビー
チクリーン大作戦が行わ
れました。



交通事故 **ゼロ** をめざす

～絶対ダメ！ 飲酒運転は犯罪です～

相変わらず、管内の交通事故発生が続いていま
す。今回は、1月から10月末までの状況を紹介し
ます。今後、皆さん自らが、無事故無違反で安全
運転に徹して下さい。

* 飲酒運転検挙件数	2件
* 違反区分では、信号無視	1件
一旦停止	3件
安全運転義務	37件
その他	10件

10月現在、第14自治会は、無事故無違反コンク
ールでは、市内大規模自治会16のうち、7位です。

飲酒運転をしない、させない！



10月29日に交通安全教室を開催しました。

いしづの話題



6月18日に石津海岸公園が結婚式場に変身



6月30日は八幡さんの夏越の大祓い
この半年の穢れを祓い、厄払いをして無病息災を願いました。



第25回第2町内会夏祭りは、300名余の参加で賑わいました。

編集後記

第11号の編集テーマは、「いしづ」の地域文化をみんなで
拓く」です。八幡さん大祭、夏越大祓いの伝統行事から、第47
回体育大会、第23回木屋川ボート事業等の地域行事など、私たち
の身近な地域に目を向けると、大切にしたい数々の行事があり
ます。こうした地域伝統行事と共に、また、新たな“いしづ”
の地域づくりに向けた活動に、若い世代の皆さんに積極的に参
画していただき、しっかりと“いしづ”の魅力を伝えられるよ
うに、真剣に取り組んでいかなければなりません。9月から12
月まで開催しました「ささえあい講座」では、たくさんの“いし
づ魅力発見”が紹介されました。引き続き、“いしづ力”を広報
誌に紹介できるようご支援ご協力をよろしくお願い致します。

広報委員／大澤雅晴 伊藤敏行 青嶋敏夫 植村悦也
加茂一男 小林宏行 平田 厚
サポーター／安倍孝至 平田澄夫 橋本和子

	世帯数	事業所数		世帯数	事業所数
1 町内会	650	35	7 町内会	220	2
2 町内会	460	7	8 町内会	58	10
3 町内会	152	14	9 町内会	172	2
4 町内会	62	4	10 町内会	174	15
5 町内会	74	1	11 町内会	271	7
6 町内会	78	0	12 町内会	95	4

世帯数計2,465 事業所数計101

みはら いしづ

第12号



石津浜海岸に初日の出輝く



新しい年に願いを込めて 石津八幡さんの初詣



新成人170人を地域で祝福
「平成30年港地域成人式」(港中体育館にて)



港公民館「キッズランド」に大変身!
「子育て広場 ほっとポット港」



寒風にも負けず「第11回グランドゴルフ大会」開催



「第35回明るい街づくり・安心安全なまちづくり大会」
(11/21 港小体育館)は、港小児童・港中生徒・さくら保育園園児多数参加して盛り上がりました。

一人一人が“ホツとするいしづ”の担い手をめざす

港第14自治会

この一年間を振り返る

日頃から地域の絆さらに深め、災害にも強い自治会をめざそう



港第14自治会会長
丸山 昭夫

さらに、近隣自治会等との協働による安全安心対策に取り組む

今年度も「人々の安全・安心を守る」を活動目標は、防災・減災事業に取り組んできました。近い将来、予想されている3つの地震連動による大きな地震発生による津波対策に、小川港入口の水門設置を当自治会より要望し、近隣9つの自治会による「津波検討会」を立ち上げ、県当局に強く要望を継続しています。引き続き会員各位の協力をお願いします。

「女子力」発揮の「防災組織体制」に期待

今日、地域活動における女性の参加は不可欠です。災害時にも、避難所運営等におけるきめ細かな取組みが大きな課題とし、各方面に呼びかけてきましたが、このたび、山梨孝子さん（委員長・2町内会）、勝矢愛子さん（副委員長兼会計・3町内会）、小野小好子さん（委員・2町内会）、平田和子さん（委員・4町内会）、田中昭代さん（委員・7町内会）、立石一子さん（委員・9町内会）、斉藤久美子さん（委員・11町内会）、松永苗美さん（委員・11町内会）の8名による「港第14自治会女性防災委員会」組織が誕生しました。今こそ、「女子力」発揮の時期。今後、全町内会の組織体制になるよう努力してまいります。



いかずい北川原の居場所

家庭・地域で無事故・無違反で安全な地域づくり

交通安全においては、交通事故撲滅に向けて、交通安全教室の開催や、定期立哨により、啓発・啓蒙に努めていますが、なかなか事故や違反件数が減少しません。12月現在、管内では、安全運転義務違反区分3件、事故区分3件で、焼津市内人口3,000人以上の16の自治会中六位。家庭から、そして地域から、無事故・無違反で安全な地域づくりに取り組みましょう。

自主防災組織体制の確立と住民相互の防災意識の向上努力

各地区で実施されている防災諸訓練。相変わらず、訓練への参加状況は十分とは言えません。関係者による防災組織に依存することなく、私たち一人一人が「自分の命は自分で守る」ことを意識し「家族ぐるみ」の防災訓練でありたいものです。日頃から、しっかりと地域性を把握し、有事の際に活かせるよう努めていきましょう。



8月 小川小学校における防災訓練

ご近所同士のつながりで地域力を高める努力

超高齢社会の今、当自治会内でも様々な地域活動が積極的に行われています。

港地域づくり推進会（第23自治会との協働組織）として取り組んでいる、港公民館の「みなとつちサロン」（月2回）は開設3年を経過、毎回40名程の会員の利用。「いかずい北川原」の居場所が、第12町内会主体で、昨年5月に開所し、2月までに35回開催し延べ651名参加。毎回15名程の利用で、まもなく1年を迎えます。子育て広場・ほっとポットは13年の取り組み。ミニディサービス（石津コミセン・祐心館の2か所）、会食サービス「あじさいの会」等も盛んです。日頃から、身近なご近所同士で親しい関係を築く第一歩を期待します。こうした普段のご近所同士のふれあい交流で、災害に強い地域づくりをめざしましょう。

環境美化をさらに推進

環よ協関連では、平成29年度雑がみ回収コンテスト（グループ1 二か月合計数量）において、当自治会はなんと第一位を獲得しました。平成26年12月に石津コミュニティ防災センター、平成27年11月には港公民館に、それぞれ設置した「古紙回収ステーション」の利用は高まっています。更なる利用をお願いします。まだまだ、心掛けたいのは不燃物回収日の各種分別ルールの徹底です。



地域福祉を担う

民生委員児童委員

民生委員は、正しくは「民生委員児童委員」と言います。百年もの歴史を今に引き継ぐ、地域福祉を担う民生委員児童委員の主な仕事は、問題や悩みを抱えている人に寄り添い、関係する機関や窓口と連携し、それらの問題解決へのお手伝いをすることにあります。

第14自治会と第23自治会管内は「港地区民生委員児童委員協議会」の組織があり、第14自治会は、石田康之さん(1町内会)、吉田悦子さん(1町内会)、桑田恵吾さん(2町内会)、松永裕代さん(2町内会)、松永洋子さん(4～6町内会)、池田綾子さん(7町内会)、富永都美子さん(8・11町内会)、村山素代さん(9町内会)、久保田靖恵さん(10町内会)、青島美佐代さん(11町内会)、川内三郎さん(3・12町内会)、主任児童委員・石田浩己さん(港小・港中管内)の12名の皆さんです。主任児童委員は、学校と地域の連絡役を担っています。

お気軽にお声を掛けください。※()内は、主な担当地区



町内ふれあい交流大会
ファミリーバドミントン大会

平成30年2月18日(日) 港小学校体育館

- 優勝 第2町内会
- 準優勝 第10町内会
- 第三位 第6町内会



「港地域ささえあい講座」から見たものは…

昨年度に引き続き、9月から12月まで、全4回にわたり開講した「港地域ささえあい講座」。第4回(12月)のワークショップでは、福祉問題を抱えた高齢者世帯の事例をもとに、「港地域で出来る支援は何か」を5つのグループで話し合いました。

- 1 関係機関・団体と地域との連携 (専門性と市民性の融合)
 - 2 生活支援体制づくり 「家事援助」「買い物」「食事」「相談」「移動」
 - 3 港地域支援組織体制の具体化
 - 4 隣近所のおつき合いと声掛け
 - 5 傾聴ボランティア活動
 - 6 福祉サービスの理解
 - 7 具体的な福祉情報提供
 - 8 居場所づくりと活用よびかけ
- 等、なんと改善・解決に向けた「港地域力」が沢山あげられました。



港第14自治会主催

「第11回グランドゴルフ大会」参加者60名
平成30年2月11日(日) 石津海岸公園グランド

男子の部

- 優勝 長谷川歳雄さん
- 準優勝 平田 紘一さん
- 第三位 青島 金男さん



女子の部

- 優勝 橋ヶ谷育代さん
- 準優勝 木村 涼枝さん
- 第三位 望月とし子さん



いしづの

昔話

第1話

船酔いを止める仏さん(下)

前回に引き続き船酔いを止める仏さんの2回目をお届けします。

ひでさんが、家の近くまできて、ヒョイと家の屋根を見あげると、五色の光が空に向かってかがやいているではありませんか。びっくりして「とうさん、うちに何か変わったことがあったかい。子どもにまちがいであったじゃあるまいの。」と大きな声で聞きました。幸蔵さんはけさのできごとを話しました。ひでさんも、ゆうべなかなか眠れなかったことや、屋根から光がかがやいていたことを話しました。

「これはきっと、けさ拾ったありがたい仏さまのおかげだ。」と、大切におまつりすることに決めました。この仏さまが船酔いを止めてくれる、と言われるようになったことについては、こんなお話が伝えられています。

幸蔵さんには亀吉さんという息子がいました。亀吉さんは漁師のくせに船に弱く、じゅうぶんな仕事もできませんでした。

そこで、親たちは亀吉さんが船に強くなるようにと、朝夕仏さまにおいのりをしました。そのおかげで、船に弱いはずの亀吉さんが、船酔いすることもなくなり、一人前の漁師になりました。こんなことがあってから、近くでも評判になり船酔いを止める仏さまといわれるようになりました。



参考文献：やいづの昔話より
作画：第11町内会
高橋泰弘さん(画号 義聖)

シリーズ⑨
懐かしいあの時代
私の思い出アルバム
投稿お待ちしております!

60年前の石津の浜で 小舟を陸揚げする風景

私の父親のアルバムから見つけた一枚。
父の話では、浜に敷いたシラ(修羅のなまり?)
に舟底をのせて、綱を引いて人力で舟を陸(オカ)
に揚げた。波打ち際のシラを、波にもついでいられないよう綱で繋いだ。これを沖シラと云った、と。当時、動力船は少なく、漁師はもっぱら櫓を漕いだ。櫓は、アカガシでできていた。

(写真提供：第5町内会 原崎省司さん)



ごそんじですか その3 保護司

保護司は、犯罪や非行をした人の立ち直りを地域で支える民間のボランティアです。

仮釈放や保護観察中の人と定期的に面接を行い、社会復帰の手助け等を行う「保護観察」、釈放後の住む場所や必要な受け入れ態勢を整える「生活環境調整」、罪を犯した人の更生について理解と、犯罪や非行を未

然に防ぐため「社会を明るくする運動」などの「犯罪予防活動」も行っています。あまり目立たず地味な活動です。

当地域の担当保護司として、新たに、平成29年10月に第6町内会 丸山茂行様が就任されました。

地域の皆さんの理解と協力をよろしくお願いいたします。



13年前に、主任児童委員・地域ボランティア有志4名で立ち上げた「子育て広場 ほっとポット港」。“地域の子どもは地域で育てる”をモットーに、今では、8名の地域ボランティア(代表小澤みつ子さん・第10町内会)が、毎回訪れる0歳から未就学児平均15組程の親子とともに、手遊びやリズム体操に楽しいひと時を過ごしています。問い合わせは港公民館へ(624-8855)



平成29年度焼津市歳末たすけあい募金助成ありがとうございました。

まもなく100世帯になる第12町内会。子ども40名、大人40名が参加して、世代を超えたふれあい交流・地域の絆を深め合う「みんな仲間IN北川原 クリスマス&もういくつ寝るとお正月を楽しもうの集い」を開催。予想をはるかに超えた参加者が、楽しいひと時を過ごしました。



会員に自治会活動の理解をと、3年前の第35回港公民館まつりから、第23自治会との連携で設けられた『自治会活動紹介写真パネル展示コーナー』。今年度は、1月20日・21日の『港公民館文化発表会』で紹介。「うちの孫が写ってるやあ」「こんなこともあったなあ」の声があららこちらから聞こえました。

いしづの話題



昨年12月2日(土)に開催された『第18回しずおか市町対抗駅伝大会』

我が第11町内会の佐野亜由美さんが、焼津市代表として10区女子一般の部で出場し、力走しました。

編集後記

自治会を「見える化」「わかる化」していく目的で「広報委員会」を組織化して5年の道程。多くの会員の声で反映できるよう議論を積み重ね、ここに「第12号」を会員にお届けすることが出来ました。平成29年度の活動を振り返り、確かな自治会活動につなげる役割を果たしていきたいものです。新年度は、新たな企画で、話題を広げてまいります。ご期待ください。

広報誌に関するご意見を各町内会長さん、組長さんまでどしどしお寄せ下さい。

広報委員/大澤雅晴 伊藤敏行 青嶋敏夫 植村悦也 加茂一男 小林宏行 平田厚
サポーター/安倍孝至 平田澄夫 橋本和子

	世帯数	事業所数		世帯数	事業所数
1町内会	655	35	7町内会	218	2
2町内会	460	8	8町内会	58	10
3町内会	152	14	9町内会	170	2
4町内会	59	4	10町内会	171	14
			会	269	7
			会	104	4

M-57

65 事業所数計101

第13号

いしづ

“いしづ力”アツプで安心安全な地域を築く



平成30年度 港第14自治会定期総会に会員来賓等230名出席



港中学校入学式のひとつ



小川小学校入学式のひとつ

ご入学おめでとう

平成30年度 小川小学校114名、港小学校96名、港中学校88名、小川中学校116名の児童・生徒が入学



交通死亡事故多発警報発令中の4月28日自治会役員独自で立哨活動



約160年余の地域の伝統行事水天宮大祭が今年もやってきました
今年の祭典当番は第10町内会でした

地域の安全と人々の命を守り 明るく安心して住み良い地域づくりをめざそう

平成30年度 港第14自治会定期総会開催

市内5番目の規模を有する港第14自治会の総会

港第14自治会は、現在、12の町内会（330組）、世帯数約2,465世帯をもって組織されています。この規模は、焼津市内38の自治会組織の中では、5番目に大きな規模の組織体です。毎年、4月に開催しています自治会の「総会」は、自治会規約の第5条「自治会役員構成」の、「自治会三役・監事、各委員、各町内会長、各町内会の組長等215名」に基づき、第9条の「役員総会」が行われると位置付けられています。毎年度、該当する役員は、自治会の「役員総会」に出席し議案の審議に参画することとなっています。平成30年度の定期総会は、152名が出席（70%）、盛大に行われました。



総会受付

未明の「春の嵐」も一転して・・・

自治会三役・各町内会長は、未明からの天候を気にしながら、より多くの出席者を期待し会場準備、資料配布作業に取り組みました。昨年度とほぼ同数の役員の出席、そして石津共栄会、石津八幡宮、水天宮、民生委員・児童委員、消防団、スポーツ推進委員、体育委員、保健委員、青少年指導員、地域安全推進委員、さわやかクラブ、港公民館、交通安全活動推進員、自主防災会等から約78名の来賓の方々の出席をいただき「定期総会」が盛大に開催されました。



この1年間の自治会活動 写真紹介コーナー

自治会活動に貢献された方々に感謝状贈呈

港第14自治会活動にご尽力された下記の皆様に対して、丸山会長より「感謝状」の贈呈がありました。自治会運営では、前参与 大澤雅晴様（第10町内会）、前副会長 良知秀彦様、前第3町内会長 小池篤様、前第5町内会長 原崎省司様、前第6町内会長 渡邊勲生様、前第8町内会長 八木俊昭様、前第9町内会長 川村和子様、前第12町内会長 藪崎清様 自主防災会では、救助隊長22年勤続 第7町内会 中野憲章様、救助隊副隊長11年勤続 第9町内会 小池忠夫様、救助隊員22年勤続 第12町内会 八木和之様 地域活動では、長年、自治会行事を盛り上げている 第1町内会 新田バンド 代表 吉田寿夫様。



丸山会長より「感謝状」の贈呈

石津共栄コーナー

突然ですが問題です。つぎのひらがなを漢字に書き直して下さい
「にんかちえんだんたいいしづきょうえいかい」

ヒント：組織の正式名です！…《今から164年前 江戸幕府も終わりに近づいた頃、安政元年に突如として襲った大地震によって大湿原の石津の土地が隆起し、開墾可能な土地が現れた。これを見た祖先の人々がお殿様に田にしたいと請願したところ、これからは農業だと考えておられたため、快く受理されました。

そして「開墾地は石津の村有とするから大いに励め」となった。安政から明治へと時代が進んで行くが、先代の人々は良くこの石津共有を守り続け《現在私たちが管理運営する石津共栄会の礎となりました。この事業の目的は住民参加による生きがいのある町づくりであります。

正解は「認可地縁団体石津共栄会」です。平成30年度から2年間の運営に、新役員で頑張りますのでよろしくお願い致します。



平田さん 西村さん 良知さん
(会計) (会長) (副会長)

明るく、安心して、住み良い地域づくりの確立を採択

平成29年度の活動実績をもとに、平成30年度の活動は、「地域の安全と人々の命を守る」を最重要で、かつ最優先課題として、防災・減災対策、組織体制の強化をはじめ、自治会組織体制の確立と連携、交通安全、地域住民相互の親睦・交流、体育の向上、地域環境整備の改善、青少年健全育成、自治会活動への理解と参画の働きかけ（広報啓発）等の事業計画を採択し閉会しました。

当日は、総会終了後に「石津共栄会総会」も開催されました。また、新影山消防団分団長より団員募集の呼び掛けがありました。



平成30年度港第14自治会役員（敬称略）

自治会長	丸山 昭夫	7 町内会
副自治会長（会長代理・自主防・公園管理）	山中 義実	5 町内会
副自治会長（社協・広報・福祉）	平田 厚	12町内会
副自治会長（事務局長・会計）	数崎 清	12町内会
副自治会長（環自協）	八木 俊昭	8 町内会
自治会顧問	大澤 雅晴	10町内会
自治会相談役	大石 昭幸	7 町内会
自治会監事	良知 秀彦	7 町内会
自治会監事	安倍 孝至	11町内会

第1町内会長	宮島 昇	福祉・自主防・総務
第2町内会長	加茂 一男	交通・環自協
第3町内会長	小池 篤	石津コミセン会計・福祉・研修
第4町内会長	向山 秀雄	環自協・公園・福祉
第5町内会長	原崎 和男	自主防・交通・公園
第6町内会長	宮嶋 勲	体育・祐心館・公園
第7町内会長	小林 宏行	広報・公園・総務
第8町内会長	小長谷幸治	自主防・研修
第9町内会長	長谷川 薫	広報・自主防
第10町内会長	小池 基夫	体育・交通
第11町内会長	鈴木 吉秋	石津コミセン事務局長・広報・総務
第12町内会長	日比野克未	交通・自主防
女性部長	辻 千恵子	2町内会
自主防指導委員長	吉田 初雄	5町内会
自主防救助隊長	山田 正義	6町内会
自警団長	富田 芳郎	10町内会
消防団11分団長	影山 直樹	12町内会
体育委員長	良知 宏幸	1町内会
保健委員長	増田 尚子	1町内会
女性防災委員長	山梨 孝子	2町内会

平成30年度 主な自治会行事

・ 毎月25日定例町内会長会議 ・ 毎月原則10日立哨日

- 4月 定期総会
- 5月 春期河川・側溝清掃 石津海岸公園整備作業
- 6月 日赤救急法短期講習会 避難所運営訓練
広報誌「みなといしづ」第13号発行
- 7月 河川・海岸愛護月間 石津海岸公園清掃 木屋川ポート事業
- 8月 旧盆の精霊送り 市政座談会 総合防災訓練
- 9月 第48回自治会体育大会 第1回港地域ささえあい講座 敬老会
- 10月 町内交流ベタンク大会 赤い羽根募金活動 港公民館まつり
明るい街づくり大会 交通安全教室 第2回港地域ささえあい講座

- 11月 交通安全教室 ふれあいゲートボール大会 しおかぜスクール
やいづビーチクリーン大作戦 第3回港地域ささえあい講座
広報誌「みなといしづ」第14号発行
- 12月 地域防災訓練 歳末助け合い募金 ファンバウンドふらばーる
第4回港地域ささえあい講座
- 1月 自主防災会出初め式 成人式
- 2月 グランドゴルフ大会 町内交流ファミリーバドミントン大会
広報誌「みなといしづ」第15号発行
- 3月 役員改選 焼津市災害時初動避難訓練

リ-コラム2 「73歳にして思う」 港第14自治会 顧問 大澤雅晴

人生を登山と考えると、73歳は下山の後半で登山口が直ぐそこということであろう。やけに近頃、「終活」「老人問題」「高齢者」という言葉が気になりだしています。仕事から解放されたのが65歳。安堵感と同時に老後の暮らしに不安を覚えたことを思い出します。平均余命は概ね10年です。平均寿命から考えて80歳を超えられるとは思いません。しかし、どう暮らしていくかまでは考えが具体には及ばない。多分余命があと10年と理解しても、それに向き合う姿勢が無いことに困っています。定年から5年、10年経つと「毎日やる事が無い」「一番自由な今が一番つらい」「暇になったのに焦る」「家で居場所が無い」などよく

言われます。これらから見えるものは、定年前の働き疲れか、生きる目的を失い始めた定年病か退職病であり、退職後にこの病にならないように助走が必要になる。そのために何かを始めることが良いと思っています。私の場合は町内会長の話が有って受けさせて頂き、その後自治会役員を5年させて頂きました。今のところ、このような病にはならず済み、感謝しております。只、歳はとりましたが、75歳を前に「俺はもうダメだ」「何もしたくない、できない」と思っはいけない。引きこもらない、心身共に元気な老人でいるために！。

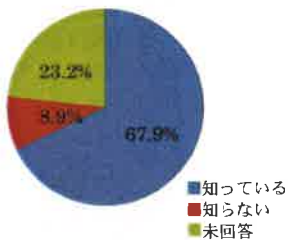


自主防災会の存在 未認識3割

約7割は、その存在を知っていると回答していますが、3割は、十分認識をしていないと回答。

積極的な防災訓練参加で災害時の課題を知ること

防災訓練に参加できない理由の回答は、身体的なこと、仕事と重なった、日曜は休みたい、育児等でありました。「自分の命は自分で守る」を周知し、常に訓練に参加し災害時の課題の把握に努めたいものです。



総合的訓練の要望が多い

体験したい訓練内容の回答結果では、「給水・給食(炊き出し)」16.5%、「初期消火訓練」16%、「救出・救助」13.9%、「情報伝達訓練」8.6%、「避難誘導訓練」7.6%、「避難所運営訓練」7.6%、「伝達訓練」7%、「図上訓練」6.7%の回答順でした。

また、計画すべき必要な訓練については、「自治会が海岸や港に近いことから津波避難」「近年の震災や豪雨災害での避難所課題の反映」「インフラ途絶時の対応」などに期待があります。特異な訓練として「自動車での避難」の回答があり、突発性地震では課題が多い。

これまで、実施した訓練で良かった内容では、「津波からの高台避難」「避難所の生活不安、ケガ人の救出・救護」「初期消火訓練」等。更なる訓練の充実を期待する意見がありました。



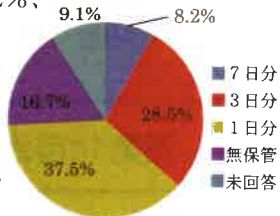
石津西公園会場 炊出訓練 (平成29.12.3)

備蓄飲料水は7日分が8.2%

南海トラフ巨大地震に対応するための飲料水の家庭備蓄量は一人一日3リットルで1週間分と言われています。

1週間分保存している世帯は、8.2%、3日分が28.5%、1日分が37.5%です。

保管していない世帯は、16.7%ですが、その理由は、津波で流され無駄になる、何時でも調達できる、近くに地下水がでている等です。



「減災に向けてのアンケート」 防災・減災意識をさらに高め

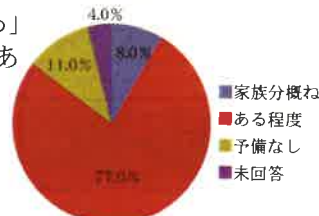
阪神淡路大震災以降、被害を最小化するために「減災」のための対策を進めることが重要であると言われています。自分でできること(自助)、地域や自分達でできること(共助)について、改めて再認識し、その観点から地域防災力を高める必要があります。防災・減災を地域住民がどのように捉えられているかを把握するため、平成29年12月、2,470全世帯の協力をいただき、「減災に向けてのアンケート」を実施し、1,037世帯から回答(回収率42%)を得ました。調査結果から浮き彫りになった内容について概要を紹介します。



港小学校会場 倒壊家屋からの救助訓練 (平成29.12.3)

非常持ち出し品の準備なし等15%

「家族分を概ね準備してある」8.0%、「ある程度準備してある」77.0%と高率を示し、かなり意識は高いが、今後、家族構成の変化にも対応できるようにしたい。



地域の子どもを地域で育む ①

港エンゼルス野球スポーツ少年団は、「努力に勝る天才はなし」を合言葉に、「礼に始まり礼に終わる」をモットーに秋山総監督・村松監督の基、小学校3年生から6年生の男女18名で活動しております。港エンゼルス野球スポーツ少年団出身、オリックスバファローズで活躍しました川端崇義さんのようなプロ野球選手になるように練習をしています。地域の皆様に応援していただける少年団となれる活動をしていきますので宜しくお願い致します。



42%の回答から見たもの

、災害に強い自治会をめざす



小川小学校会場 救助訓練 (平成29.12.3)

自宅が津波浸水区域にあるか
「わからない」22.3%の回答。
再度周知の必要があります。



今回のアンケートでは「自主防災会」への意見・要望事項を多くいただきました。定期会議において、皆さんの意見が反映できるよう活かしてまいります。

ご協力ありがとうございました。問い合わせ等は、各町内会自主防災担当者までお願いします。

平成30年度新たに 「女性防災委員会」を組織化し始動

委員長 山梨孝子さん(2町内会) 副委員長 勝矢愛子さん(3町内会)、委員 小野小好子さん(2町内会)、平田和子さん(4町内会)、田中昭代さん(7町内会)、立石一子さん(9町内会)、齋藤久美子さん(11町内会) 松永苗美さん(11町内会)の皆さんです。



我が自治会の活動拠点「石津コミュニティ防災センター」の有効活用を！

石津コミュニティ防災センター(略称：石津コミセン)は、平成4年3月に総事業費2億1,100万円をかけて建設され、この機に地元一般寄付金 5,000万円が寄せられ完成しました。施設の運営は、港第14自治会が行い、その資金は地域住民の皆様からの防災センター運営管理費と施設貸出料金によって成り立っています。

設立目的は、東海地震発生が危惧される中、自主防災組織活動を中心とした防災訓練など、防災知識の普及の場として、また有事における応急活動の拠点機能を備えた地域住民主導による自主防災の積極的活用の場、或は緊急避難ビルとしての活用施設です。(海拔3.4m 3F11.1m) 平常時には、一般の方々の活動の場として利用いただける多目的な部屋が設けられ、現在月平均35回以上の利用をいただいております。また、自治会では月1回の「ミニデイ」や町内会長会議を初め各種会議及び講習会等にご利用いただいております。今後ともこの施設を緊急時はもちろんのこと、平時でも、大いに活用をお願いします。



受診しよう 特定健診

知ってますか?? 大事です、特定健診

検診や指導を受けないと、保険料(税)が上がる??

特定健診や特定保健指導を受けないことで受診率などが低くなると、ペナルティとして保険者が支払う後期高齢者医療支援金が増額されてしまいます。保険者の支出は被保険者の皆さんの保険料(税)で賄われていますので、後期高齢者支援金が増額されることにより、保険料(税)を引き上げざるを得なくなるかもしれません。皆さんの健康のために、特定健診

・特定保健指導を必ず受けましょう。
港第14自治会は、少しずつ受診率は高まってはいるものの、焼津市内では、30.9%と低い受診率です。「受診券」は、すでに各家庭に届いていることと思います。定期的に受診されている方も、「特定健診」は受けましょう。

確認の上、実施機関へすぐに!!

いしづの居場所を拓く⑦ “私の居場所から地域ぐるみの居場所をめざす” 港第14自治会管内の居場所の今

今、なぜ“居場所”“サロン”かを改めて考える時期を迎えています。“居場所”とは、一言で言えば、「人が居る所」ですが、社会や家庭の変化と共に、多様な機能を有する“居場所”が地域社会に求められ、各地でさまざまな取り組みをしています。本誌では、これまで、「ミニデイサービスの取り組み①」（創刊号）、「高齢者のふれあい交流・健康スポーツ交流②」（第4号）「みなとっち開所③」（第7号）「石津ミニデイ20周年④」（第9号）「いかずい北川原居場所開所⑤」（第10号）「子育て広場ほっとポット港⑥」（第12号）と、港第14自治会管内の「居場所」を紹介してきました。今回は、焼津市社会福祉協議会の資料をもとに紹介します。ぜひご参加ください。

ミニデイサービス（高齢者対象）

石津ミニデイ

開設：平成9年1月22日開所 21年目の活動に取り組む
会場：石津コミュニティ防災センター
実施主体：ボランティア
開所日：第3水曜日 9:30～11:30 年間計画に基づき運営

祐心館ミニデイ

開設：平成10年6月17日開所 20周年を迎えた
会場：祐心館
実施主体：港地域づくり推進会
開所日：第4水曜日 9:30～11:30 年間計画に基づき運営

子育てサロン（子育て親子対象）

子育て広場ほっとポット港

開設：平成17年7月28日開所 13年目の活動に取り組む 会場：港公民館 実施主体：港地域づくり推進会
開所日：第1金曜日10:00～11:00 第4木曜日10:00～12:00 年間計画に基づき運営

地域ふれあいサロン・居場所（特に利用者を限定しない）

みなとっちサロン

開設：平成27年6月2日開所 4年目の活動を迎える
会場：港公民館
実施主体：港地域づくり推進会（港第14・23自治会）
開所日：第1・3金曜日 9:30～11:30
特に活動内容はなく、参加者が自由に交流

いかずい北川原

開設：平成29年5月28日開所 2年目の活動
会場：北川原公会堂
実施主体：第1・2町内会
開所日：第1・2・3・4火曜日 10:00～15:00
特に活動内容はなく、おしゃべりや趣味仲間も出ています。町内会行事も組み入れています。また、居場所開所で、各種備品が住民の協力で整い始めています。



「いかずい北川原」世代をこえた居場所



3年目の港地域ささえあい講座 住民主体に9月開講に向けて準備中

港地域づくり推進会（港第14・23自治会）が、平成28年度に初めて開講した「港地域支え合い講座」。平成29年度は、全4回の講座に若い世代も加わり延べ264名が参加して開催し、「報告書」（150部発行）にまとめることが出来ました。「平成30年度港地域ささえあい講座準備委員会」が4/18開かれました。

9/8開講、第2回10/8、第3回11/10、第4回12/8（いずれも土曜日13:30～16:00）に向けて現在準備中です。5月29日には、管内にある13の介護事業所関係者との意見交換会を新たに開催し、専門性と市民性の融合・連携を確立し、地域課題の実践的体験的学習の場の提供、地域支援を深め合っていくことを確認しました。講座の主なプログラムは、「港地域の福祉の現状を学ぶ」「障害者理解」「高齢者を取り巻く社会」「認知症の理解と接し方」「子どもを取り巻く地域社会」「管内施設見学研修」「生活支援」などです。是非とも、世代をこえた地域総合学習にご参加下さい。詳細は、「港公民館だより8月号」をはじめ「チラシ配布」等でお知らせします。

問い合わせは、港公民館（624-8855）まで。



4/8 準備委員会



5/29 介護事業所との意見交換会

第10町内会にも話題の人がいました 日本三百名山を完登、そしてキリマンジャロも！

「日本百名山は知ってるが、三百名山は知らない。」という人も居られます。百名山でも登りきるのは大変なことでありながら、10町内会にお住いの増田康明氏は三百名山を完登されたという方です。

完登できたのは、やはり山の魅力でした。お聞きすると『喘ぎながらたどり着く峠』『火照った体を吹き抜ける風』『遙かに連なる山々の大パノラマ』『足下には可憐に咲く高山植物』等々の感動をいくつも重ねられたとのことでした。

このように仰る増田さんですが、『登る』きっかけとなったのは、やはり誰もが知っている『日本百名山』の存在でした。当時は現役のサラリーマンですから連休や有給休暇をやり繰りし、60歳までにこの百名山完登させる目標を立て、足腰の鍛錬もしつつ「富士山」を皮切りに予定通り北海道利尻島の「利尻山（岳）1,721m」を

100座目で達成しました。

次の目標は、三百名山として「二百名山」「三百名山」を区別せずに昇ることとして、退職後は年間40座を超えることもありましたが、ペースを上げ300座目が『会津朝日岳1,624m』で一昨年（平成28年69歳）で目標を達成しました。

夢でもあり、念願でもあったアフリカ大陸最高峰で独立峰の『キリマンジャロ5,895m』の登頂を昨年果たされました。喜びの登頂記念写真が増田宅玄関の壁に掲げてありました。

増田さんは、目標や夢を達成させるために並々ならぬ努力をされておられます。今後についても体力に合わせて安全登山に心がけ、山の魅力を謳歌し続けると同時にトレーニングジムに通い体力保持に努めていらっしゃいます。



町内会あげて、今年も盛り上げよう“体育行事”で地域力アップ

第48回港第14自治会体育大会は、9月9日（日）開催します。
各町内会あげて、ふれあい交流を深めましょう。予備日は9月16日です。

町内ふれあい交流大会「ペタンク」10月28日（日）「ワンバウンドふらばー」12月9日（日）、
「ファミリーバドミントン」2月24日（日）。

環自協

地道な取組み 古紙回収が自治会活動を支える

港第14自治会では、平成29年度10月～12月の3ヶ月間において実施されました雑がみ回収コンテストでグループ部門(1,500世帯以上)で第1位となりました。今回の成績は、日頃からの住民の皆様のご紙リサイクル活動に対する関心の高さの賜物です。古紙回収金額も、前年対比103%と微増ですが、前年を上回っています。古紙回収に伴う売却費は自治会運営の貴重な財源です。いつでも利用可能な「港公民館駐車場南側回収倉庫」と「石津コミュニティ防災センター回収倉庫」を有効活用して下さい。

人形に感謝を込めての古びな供養祭

お子様の健やかな成長を願うと共に、人形に感謝を込めて供養する古雛人形供養祭が4月20日（金）に港公民館駐車場で、第23自治会と共同で行われました。



いしづの

昔話

第2話

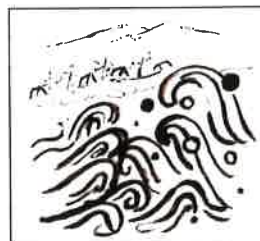
元禄の津波と鳴子松

第2話目は少し怖い話をご紹介します。今から三百年ほど前、元禄十二(1699)年の夏のことです。このあたりでは、何日も雨が降り続き、すこしも止む様子がありませんでした。八月十五日の午後六時ごろ、急に雨が強くなり、とつぜんドドドドッと、雷が落ちたような大きな音と、地ひびきがして、山のような大波がおし寄せてきました。津波です。津波は、最初は会下之島村を、つづいて田尻村、石津村を襲いました。人々は突然の大津波におどろきました。石津村の人達は、西の与惣次の方に向かって逃げました。もう少しで与惣次というところまで来たときです。そこに一本の大きな松の木がはえていました。村人たちはすぐ後にせまった波から、なんとか逃れようと、あらそってこの松の木に登りました。

たくさんの方が、それぞれ思い思いのかっこうで、枝をしっかりとぎってぶらさがり、波をよけました。その格好

は、ちょうど鳴子（鳥おどしに使われる仕かけ）のようであったといわれます。それから、この松は鳴子松とよばれるようになりました。

このお話は元禄12年に駿遠37か村が大波に襲われ、我が石津村には第三波迄押し寄せたといわれています。また、今ある松は三代目とも四代目ともいわれていますが、洪水の記念碑として石津の西側今の12町内会3町内会1町内会のちょうど堺にあります。



参考文献：やいづの昔話より
作画：第11町内会 高橋泰弘さん（画号 義重）

シリーズ⑩

懐かしいあの時代
私の思い出アルバム

投稿お待ちしております！

1955年(昭和30年)頃
小川港付近空撮

渚が近いことに注目。外側の高い砂堤防の位置がほぼ現在のコンクリート堤防とすれば、現在のテラス(石津海岸公園広場)の外側がすぐ渚だったか。港から続く県道の南西側は港掘削の埋立地。この写真の大きめのコピーをご希望の方は広報委員にお申し出下さい。

(写真提供 第11町内会 原崎行雄さん)



ごぞんじですか その4

交通安全活動推進員 橋ヶ谷三治さん(7町内会)

焼津警察署管内19名が活躍、焼津警察署から委嘱され焼津警察署管轄区域を活動範囲とし、適正な交通の方法及び交通事故防止について、住民の理解を深めるための、住民に対する交通安全教育を行っています。

交通安全指導員 長嶋栄一さん(9町内会)

焼津市民を交通事故から守るため市の交通安全対策協議会から委嘱され活動しています。地域の事故防止と各校区における交通安全指導を行っています。

交通事故 **ゼロ** をめざす

絶対ダメ！ 飲酒運転は犯罪です

焼津市では交差点での交通事故が全体の4割以上を占めています。事故に遭わないためには、標識や信号に従うことはもちろんですが、安全確認も大切です。危険を予測し自らの身体や生命を守りましょう。市では交通ルールの順守と正しい交通マナーの普及・推進を図るため、全自治会を対象とした無事故・無違反コンクールを毎年実施しております。

今年の14自治会は好調に推移し3月末現在1位となっております。是非、これを維持し事故の無い安全な町をみんなでめざしましょう。

地域の話

港小学校環境ボランティア活動の取り組み

“港地域力”の支援をいただき、さらに港小学校の教育環境を整えていきたいと、学校側の強い要請により、平成29年度に、市内住民有志による「港小学校環境ボランティア活動」が始まりました。学校からの要請の主な活動は、野菜園の整備・植え付け補助・育成管理、草花の植え付け・植え替え、校庭の植木の刈込・草刈・池の清掃、学校備品の整備等です。

現在、桑田恵吾さん、杉山行生さん、曾根要さん、立石吉延さん、立石一子さん、山中義実さん、橋ヶ谷晴郷さん、大石壮吾さん、鈴木正美さん、鈴木愛子さんの皆さんが「共育」を目指して取り組んでいます。活動日には、校内二階に「ボランティア活動教室」(居場所)が用意されています。



編集後記

平成25年11月の創刊号発行から6年目、新たな広報委員会体制のもと、「第13号」を発行することが出来ました。「石津共栄会コーナー」「地域の子どもを地域で育む」の新企画をはじめ、「リレーコラム」「いしづの居場所を拓く」「いしづの昔話」「町内会の話」「地域の話」「懐かしいあの時代の私の思い出アルバム」「ご存知ですか」のシリーズ企画の継続性に努力しています。

身近な話題や、広報誌に関するご意見を、広報委員、各町内会長さん、組長さんまでお寄せ下さい。

広報委員/大澤雅晴 小林宏行 鈴木吉秋 長谷川薫 平田厚 サポーター/橋本和子 伊藤敏行 植村悦也

	世帯数	事業所数		世帯数	事業所数
1 町内会	680	35	7 町内会	223	2
2 町内会	478	8	8 町内会	58	10
3 町内会	152	14	9 町内会	170	2
4 町内会	57	4	10 町内会	173	15
5 町内会	72	1	11 町内会	272	7
6 町内会	77	0	12 町内会	113	4

世帯数計2,525 事業所数計102

みなと いづ

第15号

港地域づくりの担い手は私たち一人ひとり



平成30年度歳末たすけあい募金助成金ありがとうございました 第12町内会 (12月22日・101名参加)



和やかに、3年目の港地域ささえあい講座 延べ211名参加



暖を取って会話が弾む初日の出 タイパーも海に潜っておめでとう 石津海岸公園



飛び出し「懐かしいアルバム」

平成4年1月15日、石津浜海岸で「どんと焼き」
第5町内会 八木さとさん提供



町内交流ワンパウンター35はーる大会 12月9日
優勝 第1町内会 準優勝 第7町内会 第3位 第9町内会

紙上座談会

平成最後 港第14自治会活動この一年を振り返る

市内で5番目(35の自治会組織)に大きい規模を有する港第14自治会(世帯数2,500世帯)。「地域の安全と人々の命を守る住みよい地域づくり」を自治会活動最優先課題として、地域福祉の推進をはじめ、防災・減災対策、交通安全、地域住民相互の親睦・交流、体育の向上、地域環境整備の改善、青少年健全育成、広報啓発等の事業に取り組んできたこの一年間を振り返りました。

●常に、防災訓練は「自分の命は自分で守る」

「我が家は安全」旗の掲示を各世帯にお願いし、防災意識を高め、訓練内容もアルファ米を使用し水からの炊き出し訓練実施等工夫をし、より多くの参加を働きかけました。津波浸水域の家庭について、有事における飲料水(2L×1200本)の備蓄達成、女性防災委員会組織化後応急法の実演もしました。有事における避難弱者の避難搬送方法や、若者及び共同住宅住居者の皆さんの更なる積極的な訓練参加を働きかけていきます。

●ごみの分別徹底が町内会運営を助ける

ごみ減量の啓発や清掃活動等を通じて、地域の環境衛生の向上を目指してきました。

特に、古紙の回収や容器包装プラの分別、食品ロスの削減や生ごみの水切りの啓発などを行いました。新聞紙、雑誌や雑紙等が上半期で59,000トン回収(前年同期比15,000トン減)。古紙回収の収益金は、町内会に配分され運営費に充てられています。石津コミセン、港公民館に常時持ち込める回収倉庫も設置してあります。各家庭のごみ減量・分別の徹底と各町内会運営資金の確保に努めます。

●交通安全はみんなの願い

地域ぐるみで事故「0」を目指す

焼津市では、続けて死亡事故が発生し事故多発警報が3回も発令されました。自治会では、事故防止呼びかけに、定期交通立哨(原則毎月10日)、街頭啓発活動(大型看板設置)を実施。交通安全のぼり旗140本、掲出旗24本購入し各町内会に配布、「立て看板」の補修・修繕や、交通安全教室で危機管理能力を育てる研修会開催。高齢者事故増加を防ぐため、自転車の乗り方指導等交通安全PRをこれからも徹底します。

●自治会が「わかる化・見える化」の広報活動をめざす

自治会・町内会活動をより多くの方々に理解していただくために、あらゆる広報啓発活動に取り組まなければなりません。

●「集まるコミュニティ」で地域の絆を深める

一人ひとりが「港地域に住んで良かった」と思える地域づくりをみんなで知恵を出し合い実践していきます。

●地域ぐるみの伝統的体育行事で「いしづか」パワーアップ

今年度は、焼津市体育事業全体で総合第3位の好成績でした。より多くの市民が参加して、自治会全体が興味を示す体育事業で交流の輪の広がりをこれからも期待します。

自治会体育振興功労者 内田昭三さんを語る 港第14自治会会長 丸山昭夫

第7町内会の内田昭三さんは、昨年5月、91歳で他界されました。

私と昭三さんは、かつて第6町内会の住人だったこと、体育大会の年代別リレーで何度も一緒に走った走友だったこともあり、13歳の年齢差を越えて親しくさせていただきました。青年の頃、小川の立小路から移住されてきた人とは思えない、石津の人そのものでした。トレードマークは大きな声、そして溢れる行動力。60歳の時、大きな手術をされたとのことでしたが、その後の31年間ずっとお元気でした。石津地区は市内の中でも、地域に体協組織が創られた先進地区。昭三さんの力に負うところ大でした。体協が出来たことにより、以前途中で途切れたこともあった体育大会も半世紀の間一回も途切れずに開催されました。体育大会の当日、昭三さんは必ず「これからも頼むぞ」と祝儀をもって、後輩を激励してくれる人でした。自治会の役員は勿論、スポーツの面でも功労されました。



石津共栄会コーナー ③ 石津共栄会助成金事業について

石津共栄会助成金事業についてお話をします。石津共栄会は、土地という財産を持っています。すごいですねー!!この土地を、宅地(33棟分)、駐車場(4か所・23台分)として賃貸し、納められた賃貸料を財源として、港第14自治会の会員様に助成(還元)させていただいています。助成の対象は、港第14自治会、消防第11分団、子供会10団体(299名)、ゲートボール・グランドゴルフの5団体(96名)、さわやかクラブの2団体(90名)野球、サッカー、バレーボールのスポーツ少年団の3団体(41名)、早朝の公園でのラジオ体操団体3団体(92名)その他神社11社に合計100万円程の助成をしています。

すごいですよねー!! どうか皆様、奮ってこれらの団体に参加されて助成を受けられてはいかがでしょうか! (完)

楽しく地域を学んだ市民主体の「港地域ささえあい講座」終わる

4月に準備委員会を立ち上げ、その後6月から2月まで全8回の実行委員会(25名の委員構成)を積み重ねて取組んできました「港地域ささえあい講座」(9月から12月・全4回)は、延べ211名が受講し無事終わりました。本講座は、平成27年度より通算3回目。今年度は、新たに、「子育て支援」「里親制度の理解」「生活支援の理論と実践」等のプログラム開拓、管内13の介護事業所の協力、10代から90代までの幅広い年代層の参加で和やかな雰囲気でした。若い世代層に福祉を理解する働きかけ、福祉問題解決機能をもつ組織体制などが課題としてあげられています。



いしづの 昔話 第4話

石津の水天宮

4月5日は水天宮のお祭りです。さて、この水天宮さんをここにまつたのはこんなことからです。

安政三年(1856)の春、江戸の材木商人の野口庄三郎さんと手代の伊藤吉弥さんが、御用材(幕府が使う材木)を集めるためにこの地へきました。信州から、大井川をくだり、木屋川を利用して木材を流し、石津バラジマの貯木場に集めて、石津港から江戸へ送っていました。

ところが、その年の八月二十五日、大あらしがやってきて、この貯木場はこわされ、山のようにつんであった

材木は、全部海に流されてしまいました。

野口、伊藤の商人や、村の人達はあわてました。そして、遠い地にまつられている水天宮においのりをしたのです。するとふしぎなことに、風向きが一夜のうちに変わって、流されていた材木が全部近くの岸に打ち上げられました。この神様のお助けに喜び、商人や村の人達は相談して、新しくつくる貯木場のところへ水天宮をまつことにしました。そして、文久二年(1862)、江戸の野口庄三郎の手代の田中藤右衛門という人が、久留米藩主の有馬氏の屋敷から、水難除けの神様を分けてもらい、ここにまつりました。それ以後は、水難除けや安産の神様として広く信仰を集めています。 参考文献：やいづの昔話

いしづ4 「焼津市青少年教育相談センター補導員になって」

港学区補導員幹事 石田正昭

私は、焼津市から青少年補導委員の委嘱を受けて約25年になり、現在は港学区の幹事を拝命しております。補導活動は夜間のパトロールが主で自治会推薦の方が8名、PTA3名、教員2名の計13名で3班に分かれて毎週金曜日の19:30から21:00頃まで青色パトロール車で巡回をしています。社会情勢も年々多様化し、過去にはシンナー遊びやテレホンカードによる誘惑等々に関する補導活動が主でしたが、最近はそのような事例はほとんどなく、スマホの使用に関する事例が多くなっているように思います。しかし、港学区においては遊興場が少なく青少年の溜まり場が無いのが現状で我々が補導活

動をしても目立った不良行為はほとんど目にすることはありません。これもひとえに地域の皆様方に子供達を暖かく見守って頂いている証であるように思います。我々補導員は地域の安全、安心、青少年の非行防止をめざすという使命を感じて活動しています。

今後とも地域の皆さまと共に青少年の健全育成をめざし、優しく見守っていくように活動をしていく所存です。



シリーズ⑫
懐かしいあの時代
私の思い出アルバム
投稿お待ちしております！

昭和18年代
婦人連 剣術練習

私の母が27歳(昭和18年9月)の時、石津海岸(現石津海岸公園)で婦人連の剣術の練習中の集合写真です。



写真提供 第11町内会 増田卓美さん

地域の話



まもなく2周年を迎える第12町内会「いかに北川原居場所」活動パネル展(10/1~10/31)が静清信用金庫石津支店のご配慮でロビーで開催しました。



今年で4年目、港公民館まつり(10/27-28)で「自治会活動紹介パネル展示」



石津西公園プレオープンフェスティバル開催(11/1)



健やかな成長をお祝いして、八幡さんで「七五三」(11/10)



自治会出初式(1/4)

小川交番防犯情報

小川交番 ☎054-623-1636
焼津警察署 ☎054-624-0110



平成30年度中における港第14自治会管内の事件事故の発生状況についてお知らせします。

昨年の上半期には、夜間不在中の店舗を狙った出店荒らし事件や車上ねらい事件が発生しましたが、下半期は、侵入窃盗や連続発生する窃盗事件はありませんでした。

しかし、オレオレ詐欺の犯人が現金やカードを受け取りに来たり、息子や孫を騙るアポ電(事前に家族等を騙り現金を用意させる電話)があるなど、あわやという場面もありました。

交通事故に関しては、交差点での出会い頭事故や自転車使用の高齢者が巻き込まれる事故が多く発生しました。

自宅周辺の慣れた道でもしっかりと周囲の状況を確認しながら運転し、夕暮れ時は反射材を活用するなど、自ら安全を確保して、安心で安全な地域づくりを目指しましょう。

地域の子どもを地域で育む③
港バレーボールスポーツ少年団

本団は港小学区を中心に港バレーボールスポーツ少年団として昭和五十年八月に創部され、今年で四十四年を迎えます。大好きなバレーボールの練習に日々励みながら、周りの人への挨拶を忘れず、感謝を声に出して相手に伝え、他人を思いやる心を育てる活動に取り組んでいます。第十四自治会の皆様におかれては、日頃より御支援頂き厚くお礼申し上げます。今後ともご高配賜りますよう宜しくお願い致します。



編集後記

最近、広報委員会に嬉しい便りが少しづつ届けられ、委員一同喜んでます。「アルバムを整理していたら、母の若い時の写真が出てきた。懐かしいアルバムに紹介できるかな」「昔は、地域をあげて、伝統行事を守ってきた。どんど焼きには、近所衆がみんなで話せる場所があった。だんだんと行事もなくなり淋しい」「自治会のことが記録となって残り、役員時代の尊い活動を振り返ることができる」と、「継続は光なり」と、ようやく、地域の皆さんに、その真意が伝わってきたように感じます。これからも、自治会・町内会活動を「見える化」「見える化」する努力をしていきましょう。
広報委員/大澤雅晴 小林宏行 鈴木吉秋 長谷川薫 平田厚 サポーター/橋本和子 伊藤敏行 植村悦也